

小児神経学の進歩

日本小児神経学会教育委員会・編

第33集

神経疾患の薬物療法

発達障害と薬物療法	鈴木周平
不随意運動と薬物療法	須貝研司
てんかんと外来薬物療法	大塚頌子
炎症性神経筋疾患と薬物療法	服部春生

C.C. 傾眠傾向で発症し、眼球運動制限、不随意運動などを呈した5歳女児例

特発性てんかんの分子生物学	廣瀬伸一
脊髄性筋萎縮症の臨床と遺伝子	齋藤加代子
新生児・乳児の神経疾患と外科的対応	森本一良

C.P.C. 小脳失調症状を呈した小児の1例

重症心身障害児のQOLを目指した医療、療育支援	口分田政夫
中枢神経系発生異常の発症に関与する遺伝子異常と環境要因 —Holoprosencephalyを中心に—	塩田浩平・他

●小児神経学—最近の話題—●

はじめに	山野恒一	発作性疾患	麻生幸三郎
診断技術	大府正治	変性・代謝性疾患	水口雅
新生児神経学	山野恒一	神経・筋疾患	永井利三郎
先天異常	斉藤伸治	発達障害、心身症、社会医学	小枝達也
炎症性疾患	浜野晋一郎	小児脳神経外科	森竹浩三